

ガバナー一月信



月信 5月号

- ①ガバナーメッセージ
- ②ローターアクト地区大会のご報告
- ③会長エレクト研修セミナーのご報告
- ④地区大会記念親睦ゴルフ大会のご報告
- ⑤地区大会のご報告
- ⑥クラブ近況報告(中条胎内 RC)
- ⑦クラブ近況報告(新潟南 RC)
- ⑧クラブ近況報告(村松 RC)
- ⑨クラブ近況報告(三条 RC)
- ⑩クラブ近況報告(巻 RC)
- ⑪クラブ近況報告(柏崎東 RC)
- ⑫クラブ近況報告(雪国魚沼 RC)
- ⑬クラブ近況報告(糸魚川中央 RC)
- ⑭会員数及び出席報告
- ⑮地区主要行事予定(5月・6月)
- ⑯新入会員紹介・訃報
- ⑰コーディネーターニュース
- ⑱ハイライトよねやま

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度

高尾ガバナー事務所

新潟市中央区川端町 6-53 ホテルオークラ新潟 1F
TEL: 025-222-2561 FAX: 025-222-2565



地区大会のご協力に対する御礼と 「青少年奉仕月間」に寄せて

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 ガバナー

高尾 茂典 (新潟中央 RC)

若葉が萌え、田を渡る風も心地よい季節となりました。今年は美しさに感動を覚える開花から、一瞬で散る桜の潔さを肌で感じた春でした。

昨秋から延期した地区大会を 4 月 16・17 日の 2 日間の日程で、RI 会長代理立野様はじめ、お二人の講演者をお招きし、他地区の同期ガバナー、パストガバナー、地区役員、55 クラブの会長幹事さんをお迎えして、盛大に開催することができました。感染防止のため、残念ながら会場にお越しいただけないロータリアンの皆様には、リモートにて一部は録画を配信しての開催となりました。ロータリアンの皆様には、感動していただくか、又、記憶に残る地区大会にしたいとの思いから、スケジュールを大幅に縮小しながらも、目玉を講演会にしぼり、スピーカーを選ばせていただきました。お二人の講演者は、ロータリアンにとっての最高のテーマでお話をいただき、沢山の皆様に感動を与えていただいたと思っております。(株)ハードオフコーポレーションの山本善政会長、(株)船橋屋の渡辺雅司代表には感謝の気持ちでいっぱいです。参加いただいた全ての皆様に御礼申し上げます。

今月は、「青少年奉仕」月間です。ロータリーでは、次世代のリーダーを育てることを目的に奉仕の価値観を学ぶ機会を設けています。インターアクトクラブ、ローターアクトクラブ、ロータリー青少年指導者育成プログラム (RYLA)、ロータリー青少年交換や米山及び財団の奨学生などを通じて青少年や若い世代の社会人がリーダーシップ能力を伸ばせるようご支援して参ります。また、若い世代の皆様が、ロータリーについて理解を深め、将来ロータリアンとして活躍していただけることを期待しております。

地区としては、3 月 12 日に、上越 DuoCEREZO にて第 52 回ローターアクト地区大会が行われました。会場では、県内 9 つのクラブの皆様より活動報告がありましたが、例会やボランティアなど、コロナ禍でも柔軟に対応した形式で活動しておられることに大変感動し、心強く感じました。ローターアクトの皆様がロータリーの活動で得た経験、繋がりはこのからの人生において必ず自分の糧になるものと確信しております。これからも地区としては、青少年の皆様にご支援そして、交流を重ねて参りたいと思っております。

先月、地区幹事からこの月信内で報告があったとおり、当地区に分区再編検討委員会を立ち上げました。会員の高齢化、会員の減少などの問題を抱え、クラブの運営に危機感を持っている方も多いと思われます。現在、地区内のあるクラブから相談を受けており、当該分区のガバナー補佐、会長・幹事様のお力添えをいただいて会を進めております。結果については、改めてご報告する機会を作りたいと思っております。



ローターアクト地区大会のご報告

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度ローターアクト委員会
委員長 飯塚 宏佳 (高田 RC)

去る 3 月 12 日 (土)、上越市の DUO セレッソを会場に行われました 2021-22 年度国際ロータリー第 2560 地区ローターアクト第 52 回地区大会に参加してきましたので、ご報告致します。

当日は、中川上越市長、高尾ガバナー、高橋ガバナーエレクトを始めご来賓 10 名、ロータリアン 19 名、第 2560 地区ローターアクト現役 40 名、OB・OG7 名、友好地区より 6 名の合計 82 名が会場に集い、その他にオンラインでも 15 名が参加するという久しぶりの完全な形での地区大会が行われました。

前年度優秀アクター・クラブ表彰や前年度地区役員への感謝状の贈呈の後、エレクトの田巻君 (新潟南 RAC) が紹介されました。残念ながら、お仕事の都合上、オンラインでのご挨拶ではありましたが、それをスムーズに進行出来るのもローターアクトらしく思いました。

その後、各クラブの活動報告があり、コロナ禍での苦勞も報告されましたが、そのような中でもオンラインでの例会開催や、中には YouTube を始めたクラブもあるなど工夫が見られ、楽しんで拝見させていただきました。

式典プログラムでは、第 46 代から第 51 代までの地区代表が登壇し、自分達の活動の時の一番成功した事と失敗した事、どうやってローターアクト活動を充実させるか等が討論され、現役のアクター達の指標になったのではないかと思います。ローターアクトも会員減少が毎年問題であり、ロータリーの協力がより必要だと感じられましたが、彼らの「自分達自身が楽しんで活動していない場所には誰も興味を持ってくれない」という意見が、我々ロータリアンにも当てはまるのだろうと考えさせられました。

その後、コロナ対策をしっかり施した上、和やかな雰囲気祝賀会が開催されました。高橋ガバナーエレクトからご挨拶いただきましたが、本当に熱心にアクターたちの意見に耳を傾けていただいていた事が伝わって、彼らも喜ぶと共に身が引き締まっていたようです。

コロナ禍が続き、このような会が途絶えて久しかったのですが、改めて親睦と友情の大切さを感じられた良い地区大会だったと思います。今後とも、ローターアクトの活動にロータリアンの皆様の温かな友情と支援の程、よろしくお願い致します。





会長エレクト研修セミナーを終えて

国際ロータリー第 2560 地区
2022-23 年度会長エレクト研修セミナー
実行委員長 佐藤 紳一 (新潟 RC)

去る 3 月 26 日 (土)、会長エレクト研修セミナー (PETS) がホテルイタリア軒で開催され、170 数名の登録をいただき、誠に嬉しく思っております。新型コロナの中、果たしてプログラム通りに開く事が出来るかどうか、参加登録者数は？懇親会での感染対策は？と、心配事が絶えませんでした。もやもやした気持ちの中、午前 10 時にスタートし、「開会宣言」、「開会点鐘」と進み、高橋秀樹ガバナーエレクトより、「RI 会長方針と新年度基本方針」について発表説明があり、第 1 部は終了しました。第 2 部は、「次年度委員長基本方針発表」があり、ガバナーエレクト事務所からの「お願い」のあと、昼食休憩となりました。

午後の部は、全体セミナーで始まり、分区セミナー、地区委員長セミナーで第 4 部が終わり、第 5 部は、佐藤地区研修リーダーより講評をいただき、無事セミナーを終えることができ、高橋ガバナーエレクトによる閉会点鐘となりました。

最後、懇親会に入り無事終える事ができ、ホッと胸を撫で下ろした次第です。分区セミナーでは、新潟クラブのメンバーが各セミナーごとに素晴らしい議事録を作成していただき、誠にありがとうございました。

昼食は、ゴミを出さないように皿盛サンドウィッチ、また、食品廃棄ロスの意味でパンの耳をつけて出し、懇親会では、お互い席を立たなくても良いように配慮しました。また、バンド「ジューク・ボックス」では、次年度国際ロータリーのテーマと同曲名「イマジン」、NHK 朝ドラ「カム、カム、エヴリバディ」の挿入歌オン・ザ・サニーサイド・オブ・ザ・ストリートの演奏があり、非常に「おしゃれ」な感じで終える事ができ、ありがとうございました。

最後に、一番恐れていたコロナのクラスター感染の連絡が入らず、ホッとしております。皆様のご協力、誠に感謝しております。「ちむどんどん」ロータリーライフを歩んでください。





地区大会記念親睦ゴルフ大会のご報告

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 地区大会記念ゴルフ大会
実行委員長 **大井 悌司** (新潟中央 RC)

当初、令和 3 年 9 月 7 日（火）に予定していた地区大会記念親睦ゴルフ大会ですが、昨年 7 月以降、感染力の強いデルタ株が猛威を振るい、COVID-19 新規感染者が爆発的に増加したことから、高尾ガバナーの判断で延期とさせて頂きました。今回は、COVID-19 による医療逼迫は起きていないことから、4 月 12 日（火）新発田市万代のフォレストカントリー倶楽部に於いて、参加者 389 名、団体戦参加 38 クラブの皆様方のご協力を賜り、盛大に開催させて頂きました。ゴルフ場内の桜は満開で、気温は 24 度という一年で最高の天気にも恵まれました。

ショートコースにはワンオンチャリティーを設け、ワンオンするとロータリーマークが入っているゴルフボール 3 個、失敗すると 1 個がミスアースより手渡されました。

アフガニスタン、パキスタンから更にアフリカまで広まっているポリオを危惧して、この大会についてはポリオ撲滅キャンペーンを兼ねることとし、4 月 17 日（日）の地区大会の壇上で、ロータリー財団委員会新保清久委員長にチャリティーによる収益金 40 万円の寄付の目録を手渡しました。

何分不慣れなため、行き届かぬ点多々あったこととお詫び申し上げます。ロータリーの友情に免じてご容赦ください。今回の大会にご協力頂きましたフォレストカントリー倶楽部のスタッフの皆様、実行委員会の皆様、親クラブの新潟北ロータリークラブの皆様、私を支えてくださいました新潟中央ロータリークラブ大勢の皆様、厚くお礼申し上げます。

(個人戦・団体戦の表彰者、敬称略)

個人戦優勝 広川 彰 新潟中央ロータリークラブ

2 位 田島裕士 新潟東ロータリークラブ

3 位 米山光紀 新潟南ロータリークラブ

団体戦優勝 新潟南ロータリークラブ

2 位 新潟東ロータリークラブ

3 位 新潟中央ロータリークラブ





地区大会のご報告

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 地区大会実行委員会

委員長 **大野 雅弘** (新潟中央 RC)

4月16日、17日 国際ロータリー第2560地区の地区大会が高尾茂典ガバナーのもと、ANA クラウンプラザホテル新潟で開催されました。4～5日前は、新潟市内の桜は満開でした。当日は、残念ながら、桜は散り始めましたが、晴天に恵まれました。

今回の地区大会は、COVID-19 新規感染者が増加の中での開催となり、会場出席者を大幅に制限し、他の会員にはオンライン配信とした変則的な縮小した地区大会となりました。出席者は、RI 会長代理立野純三様（大阪 RC）、県内外からのご来賓を含め、およそ180名弱でした。

第1日目（4月16日）は、特別講演として、株式会社ハードオフコーポレーション代表取締役会長山本善政様より、「私にとっての四つのテスト」という演題でご講演いただきました。引き続き、RI会長代理歓迎晩餐会が開催されました。アトラクションとして、古町芸妓による踊り「柳都の舞」を披露していただきました。さらに、佐渡南 RC より、目指せ！世界遺産登録「佐渡島の金山」のビデオのプレゼンテーションがありました。料理は、新潟和牛をメインディッシュとした和食を中心としました。出席者には、新潟の料理、お酒を十分に堪能していただけたかと思います。

第2日目（4月17日）午前は、物故会員追悼（17名）を行い、引き続き、ご来賓の新潟県知事花角英世様、新潟市長中原八一様及び新潟商工会議所会頭福田勝之様から、ご挨拶をいただきました。その後、記念講演として、株式会社船橋屋代表取締役渡辺雅司様より、「伝統と革新の「幸せ」経営術」という演題でご講演をいただきました。



第2日目（4月17日）午後は、各委員会報告、各種表彰（個人、クラブ）などがあり、また、大会決議案の採択も満場一致でなされました。引き続き、本地区大会に先立つ4月12日に、快晴のもと、フォレストカントリークラブで開催された地区大会記念親睦ゴルフ大会の成績発表があり、チャリティーとして収益金40万円がロータリー財団に寄付されました。その後、直前ガバナー、地区幹事、地区財務委員への記念品贈呈がありました。最後に、ガバナーエレクト高橋秀樹様、ガバナーノミネー米山忠俊様、ガバナーノミネーテジグネート南雲博文様からご挨拶をいただきました。

次回は、高橋秀樹ガバナー（新潟RC）のもと、2022年11月12日、13日に新潟市で地区大会が開催される予定です。多数のご出席をお待ちしております。





クラブ活動近況報告

中条胎内ロータリークラブ
会長 近 恵子

「ロータリーを知り、奉仕しよう。そして例会を楽しもう！」のクラブテーマで始まりました今年度でありましたが、コロナウイルス感染症の未だ終息の兆しも見えぬまま、例会はリアル参加とWEB参加のハイブリッド形式で行っています。さすがにまん延防止の時期は休会にいたしました。なるべく早く再開をと、短縮例会・食事なしから始め、徐々に通常例会に戻していきました。

会独自のコロナウイルス対応ガイドラインを作成し、会員に周知し感染防止に役立てました。そのような中でも状況をみながら今やれることをやろう、ということで新入会員向けのオリエンテーション、インターアクト設立に向けた勉強会、クラブ会員向けのワークショップ、会員ご家族を交えたクリスマス会、地域の保育園・幼稚園児向けコロナ感染予防キャラクターマスクの寄贈と、各委員が時期を見計らいガイドラインに沿った感染予防を徹底し、各イベントを行うことができました。これも会員全員が常に会員相互の繋がり、親睦を大切にし、何か活動しようという想いがあったからこそできたことだと思います。今年度終盤に地区補助金を使わせていただく社会奉仕事業「WE LOVE MUSIC」～音楽でつなぐ人と街～のイベントを開催予定です。中条胎内ロータリークラブ会員全員の元気を海上自衛隊舞鶴音楽隊の音楽とともに地域の皆さんにお届けし、また明日から頑張ろう！といった気持ちになっていただけるよう今準備の真っ最中です。



COVID-19 禍でのクラブ運営について

新潟南ロータリークラブ
会報・雑誌委員会
委員長 宮崎 信一

今年度におきましても COVID-19 禍の中のクラブ運営となり、まん延防止等重点措置期間を含め、リアルでの例会（夜例会含む）が延期、中止などいろいろ影響がありました。

小山会長より、「私の年度でも、夜例会を含めて親睦を深める行事が出来ない

かもしれません。そこで、従来の週報よりも、全員が顔を合わせる従来の例会に匹敵するような『新例会方式』はないだろうか、会員の人となりや少しでも分かるよう、話のきっかけになる一助になるようなことを週報で表現出来ないだろうか？」との投げかけのもと、会報・雑誌委員会のメンバー、印刷担当木戸製本所様との打合せにより、月1で週報拡大版との名で紙面を増やし（通常 A4 両面→拡大版 A3 両面）、これまでに理事役員委員長の抱負から始まり、誕生月の方からコメント、各委員会・同好会から運営についての原稿をいただき掲載しております。

当初は、原稿が集まらなかったらどうしようと不安を抱えておりましたが、流石新潟南ロータリークラブ！協力的な会員の皆さまより沢山の原稿をいただき大変助かりました。

この会員にはこんな意外な趣味があったのか！や、同好会については成り立ちや運営状況などが深く解り、その点でも週報拡大版を作成したことは一定の成果があったのではと感じております。



年間スケジュール

発行日	誕生日	委員会・同好会
2021/7/7	7月お誕生日の方	会長、幹事、各委員長より一言(クラブフォーラム発表者)
2021/8/4	8月お誕生日の方	会長、幹事、直前会長、会長エレクト、副会長、副幹事、会計、PG、次年度ガバナー補佐
2021/9/1	9月お誕生日の方	S.A.A、プログラム委員会(大委員長含)、会報・雑誌委員会、新潟南 RAC
2021/10/6	10月お誕生日の方	会員増強委員会、ロータリー情報委員会、国内友好クラブ担当、海外友好クラブ担当
2021/11/10	11月お誕生日の方	出席・ニコニコボックス委員会、親睦委員会、公共イメージ委員会、ロータリー財団委員会、米山記念奨学委員会
2021/12/1	12月お誕生日の方	ロータリーアクト委員会、青少年奉仕委員会、職業奉仕委員会、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会
2022/1/12	1月お誕生日の方	若い根っこ会、ゴルフ同好会、自己紹介コーナー
2022/2/2	2月お誕生日の方	野球同好会、野球応援団(南応会)、自己紹介コーナー
2022/3/2	3月お誕生日の方	グルメの会、自己紹介コーナー、写真展「私の撮った自慢の一枚」
2022/4/11	4月お誕生日の方	新潟南 RAC、新潟文化研究会、麻雀同好会、自己紹介コーナー
2022/5/11	5月お誕生日の方	ファミリー同好会、自己紹介コーナー
2022/6/1	6月お誕生日の方	活動報告(予定)



COVID-19 禍、 「無理をしない」村松ロータリークラブ

村松ロータリークラブ
会長 金子 洋

2020年1月からCOVID-19の国内感染拡大が始まり、あっという間に日本中に広がりました。それに伴い、様々な自粛や社会活動の制限が要請され、ロータリークラブ活動にも支障が生じ、PETSや地区協議会等の大きな行事はオンライン化や延期されました。それぞれのクラブも奉仕活動の実施困難や例会開催すら難しかったと思われま

す。
ところで、村松クラブ会長の座右の銘は、「無理はしない」。COVID-19禍でも、「無理しない活動」とはどうだったでしょう。奉仕活動は、感染状況の様子を見ながら少年野球大会等を可能な限り実施しましたが、その他は計画しても感染状況に左右されるため、あえて実施しませんでした。しかし、少人数クラブ故に密になる事がなく、緊急事態宣言時以外は、基本、例会を実施。最近では、飲食を伴う夜間例会も少人数で開催しています。COVID-19禍でも出来る奉仕活動を無理に計画するのではなく、ゆっくり親睦を深めました。たまには、このような時期があっても良いと思います。

さて、今年度は、村松クラブ60周年行事が予定されていましたが、感染状況は油断できず、飲食を伴うパーティー等は難しい所です。せっかくの周年行事なので、規模縮小や飲食無しでは味気ないもの。記念事業は予定通り行いますが、祝賀会のみ延期としました。



クラブ近況報告

三条ロータリークラブ
会長 歸山 肇

今年度の後半も、コロナ感染の収束しない中、会員の感染予防を第一と考えて活動中です。特に例会は、計画変更を重ねながらの状況が続きました。通常の例会も時間短縮、状況によっては、最悪休会も含めてのものになりましたが、会員の理解・協力を得ながら例会を行っております。

しかしながら、各委員会では工夫をしながら、今行えることを委員長が中心になり、しっかりと打ち合わせし実行している状況です。

例会が中心で、交流も親睦も深めながらが基と考えていますので、計画変更をしながらとなり残念に思うこともありますが、今年度もあと2か月、今年度できることはしっかりと行い、この状況下で実行できないものは申し送りとも考えています。

今年度のクラブテーマは、「感謝の気持ちを行動に」です。どのような状況下にあっても、四つのテストを意識し、ロータリアンの行動規範を基に三条 RC の会員のプライドを合わせ、一緒に活動できていると確信しています。

今年度の主な活動内容を記載します。

1. 障がい者福祉施設いからしの里へクリスマスプレゼント寄贈
2. 三条ローターアクトクラブへの支援、障がい者福祉施設長久の家へ鏡餅代寄付
3. 三条市総合運動公園内トリムの森ゴミ拾い及び草刈り活動、五十嵐川クリーン作戦への参加
4. 三条駅の白ポスト（30年前設置）劣化の為、新作
5. 三条ローターアクトクラブ創立 50 周年記念事業（50km 清掃活動）を協力して行う
6. 三条 RC のビデオメッセージを作り、姉妹クラブの台湾・新竹城中 RC へ送る（相互、直接交流ができない為）





クラブ近況報告

巻ロータリークラブ
会長 田中 仁

春分の候 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より巻ロータリークラブの運営について、ご協力を賜り感謝申し上げます。

現在、新型コロナウイルス感染症は第5波の終息後、オミクロン株の感染による第6波の真っ只中
であります。巻ロータリークラブについても、昼例会を1月20日～2月17日迄休会としました。

現在までの社会奉仕活動は、昨年10月24日に西蒲区五ヶ浜海岸において清掃活動を実施しました。
地域の方々、ボランティアを含め大勢の方々にご参加頂き、実施させて頂きました。職業奉仕委員長
をはじめ広報活動に社会福祉団体、新聞でボランティア活動の案内など、報道で巻ロータリークラブ
の存在を広める事ができ、当日は現地でサーフィンをしていた方達にも参加して頂き、小雨・海風と
寒い中、無事に終了しました。次回に繋げる為に後日、例会・理事会において、反省会・慰労会を
実施しました。改めて参加者の皆様方に心から感謝申し上げます。有り難うございました。

また、昨年からの延期で今年2月に予定していた、「巻ロータリー杯 30回記念 中学生女子バレー
ボール大会」も、昨年同様にコロナ禍において開催不可能となりました。またしても延期です。来年
に向けての取組を考えております。

同時に、地元の水芭蕉園の整備活動と、五ヶ浜海岸にはび
こる外来植物（オオキンケイギク）の駆除活動を実施予定と
しており、大勢の方々にご参加いただけるよう、広報活動を
実施に向け計画をしております。

社会奉仕活動に繋げる事で、巻ロータリークラブを知って
頂き、また話題作りをしながら、楽しく例会を開催出来るよ
うに努め、会員増強委員会をはじめ各委員会の力を借りつつ、
奉仕活動と会員増強に繋げる事ができるよう努めて参ります。

2020年4月からのモンゴルからの奨学生においては、当
ロータリークラブでの経験を活かして頂く事を期待しながら、
今年3月に無事に終了となりました。自国へ帰国されます。
また、2022年4月から中国よりの奨学生をアシストさせて頂
きます。





クラブ近況報告

柏崎東ロータリークラブ
会長 平野 勇

柏崎東ロータリークラブは、現在創立 55 年、会員数 46 名のクラブです。

会員の構成は、年度初め時点で最年長者 91 歳、最年少者 38 歳。70 歳以上（8 名）、60 代（11 名）、50 代（12 名）、40 代（13 名）、30 代（2 名）と幅広い世代が平均して在籍しており、年代に関係なく和気あいあいとした雰囲気のあるクラブです。

昨年 7 月より始まったこの年度は、市内のコロナウイルスの感染状況を見ながら、弁当持ち帰りの短縮例会を隔週で開催という前年度よりの方針を継続しスタートしましたが、8 月の県特別警報により一時的に例会自粛、年明けからのまん延防止等重点措置期間中の例会中止と、思うように例会の開催数が多くならない状況で推移しております。

また、例会会場についても、当クラブは非常に出席率（前年平均出席率 94.8%、過去 10 年間でも 90% 以下は 1 年のみ）が高いので、コロナウイルスの感染防止対策で人数制限がかけられ 40 名以上での会合可能な施設に限られたことなどから、今年度は 3 つの施設の空き状況を確認しながらの例会を継続しています。しかし、どの施設も会場での飲食が出来ないことから、弁当持ち帰り例会になってしまいます。

親睦夜例会についても、12 月末の総会・夜例会を 1 度開催出来ましたが、新年夜例会の直前からの感染再拡大により飲食なしで持ち帰り例会に急遽変更しました。

このような状況下で、在籍年数の少ない会員さんがなかなかクラブになじめないのではとの声も多く寄せられており、全体夜例会の開催が出来そうにないことから、各委員会単位で親睦を図る会を複数回開催するように呼びかけているところです。



クラブ近況報告

「一人ひとりが出来ることを一つずつ」

雪国魚沼ロータリークラブ
会長 井口 司

ロータリークラブへ入会して 5 年が過ぎ、若輩者ながら本年度会長をさせて頂いている中で、日々勉強させて頂いております。

さて、国際ロータリー 2021-22 年度は「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」を、第 2560 地区では「ロータリーを学び ロータリーを広げよう」をテーマに一年間の運動を進めておりますが、一昨年来、一向に収束の気配が見えない COVID-19（新型コロナウイルス）も、昨秋から年末にかけては収束の兆しが見えたかと思いきや、年明けからの第 6 波感染拡大により、さらなる社会活動の制限などロータリークラブの活動も思うように出来ない状況の中ではあります。が、こんな時だからこそ、アインシュタインの言葉「誰かのために生きてこそ人生には価値がある」の精神から、本年は「一人ひとりが出来ることを一つずつ」を会長テーマに掲げ、活動しております。例会は、感染対策（マスクの徹底、ソーシャルディスタンス、黙食）をしながら、ここまで開催をしてきております。外部の卓話者はお呼びできておりませんが、食事後の誕生卓話などで会員の近況報告などを聞き、情報交換をしております。

また、当クラブが永年にわたり行っている継続事業「シングルスパーティー」も、ここ 2 年にわたり中止を余儀なくされましたが、今年度は社会奉仕委員長の強い思い入れもあり、6 月の開催に向けて実行委員会が立ち上がり、地域の活性化につながるこの事業を成功させるべく、現在その準備をしている真っ最中です。

そして会員増強。本年 10 名の純増を目標にし、3 月末時点で男性 4 名、女性 1 名が入会しました。残り 2 か月、目標まで届かないかもしれませんが、会員皆で頑張りたいと思っております。

世界を見渡せば、ロシアによるウクライナ侵攻により、市民が平和に暮らしていた家も街もそのすべてが武力により破壊され続けている中で、犠牲となられた方々、故郷を捨て避難する方々の姿を映像で見ると、胸が締め付けられる気持ちでいっぱいです。力による解決ではなく、平和的な解決で一日も早くこの紛争が終わることを祈りながら、ロータリアンとして一人ひとりが出来ることを一つずつ行っていきましょう。残り 2 か月、どうぞよろしくお願い申し上げます。



クラブ近況報告

糸魚川中央ロータリークラブ
会長 豊島 善

2021-22 年度も残すところ、あと 2 ヶ月になりました。年度開始当初は、ワクチン接種が進んで COVID-19 が収束することを期待していましたが、第 5 波・第 6 波があり、まだまだ難しいクラブ運営を強いられている状況です。基本テーマを「今こそ奉仕を」とし、コロナ禍の今こそ奉仕を、コロナ禍の今だからこそその奉仕を、と考え臨みましたが、思った通りの活動は出来ていないのが現状です。

しかし、コロナ禍でも奉仕は止めないとのガバナー方針でもあり、まずは基本に立ち返った活動をと心掛けております。糸魚川ロータリークラブ様との合同事業である、新日本フィルハーモニー交響楽団によるコンサートは残念ながら今年度も開催出来ていませんが、青少年奉仕事業は実施しております。小学 5 年生を対象とした「わたしの夢」作文コンクール、中学生を対象とした糸魚川英語発信プログラム、糸魚川中央ロータリー旗争奪少年野球大会などです。表彰式は、感染防止の為に例年通りには出来ませんでした。

親睦行事については、第 5 波が落ち着いた 11 月、12 月に行いました。12 月はクリスマス家族会を行いました。お子様はワクチン接種がまだでしたので、参加してもらえない代わりにお土産を用意いたしました。

COVID-19 感染状況を注視し、5 月にも親睦事業を行う予定にしております。基本的な感染対策をしながら、奉仕を続けて行きたいと思っております。



クリスマス家族会お子様への土産用

第2560地区 2021-22年度3月末 会員数および出席報告

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会員数			
			2021年 7月1日	3月末 会員数	うち女性	増減
第1分區(9クラブ)	／	-	372	376	34	4
新発田	0	28.6%	93	91	0	-2
村上	4	17.9%	38	39	9	1
水原	4	21.9%	32	32	1	0
中条	3	100.0%	41	44	3	3
新発田城南	2	21.1%	40	38	3	-2
豊栄	2	12.5%	20	24	2	4
新発田中央	3	4.4%	44	45	4	1
中条胎内	3	51.4%	36	37	7	1
村上岩船	3	23.1%	28	26	5	-2
第2分區(9クラブ)	／	-	433	438	25	5
新潟	5	23.9%	82	83	2	1
新潟東	4	16.4%	62	66	8	4
新潟南	5	32.4%	105	107	3	2
佐渡	3	100.0%	6	4	0	-2
新潟西	5	50.0%	39	40	2	1
佐渡南	3	12.2%	40	40	4	0
新潟北	3	28.9%	37	36	0	-1
新潟中央	4	38.1%	21	21	0	0
新潟万代	2	53.7%	41	41	6	0
第3分區(6クラブ)	／	-	97	101	6	4
新津	1	11.8%	17	17	1	0
村松	4	63.6%	12	11	0	-1
五泉	4	0.0%	11	11	1	0
白根	5	29.0%	29	31	1	2
新津中央	3	28.0%	22	25	3	3
阿賀野川ライン	3	0.0%	6	6	0	0
第4分區(11クラブ)	／	-	366	362	27	-4
三条	4	12.3%	56	57	0	1
燕	3	9.4%	34	32	2	-2
加茂	4	8.6%	33	35	6	2
三条南	3	15.4%	44	39	2	-5
分水	4	79.3%	29	29	4	0
見附	5	4.8%	21	21	1	0
吉田	2	6.7%	28	30	3	2
三条北	4	8.8%	58	57	2	-1
巻	4	0.0%	25	24	3	-1
田上あじさい	4	14.3%	7	6	1	-1
三条東	4	6.3%	31	32	3	1

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会員数			
			2021年 7月1日	3月末 会員数	うち女性	増減
第5分區(7クラブ)	／	-	296	291	24	-5
長岡	4	81.0%	45	42	3	-3
柏崎	2	2.4%	41	38	0	-3
長岡東	4	28.8%	52	52	3	0
柏崎東	2	17.4%	45	46	3	1
栃尾	3	12.0%	25	25	0	0
長岡西	3	20.4%	50	49	3	-1
柏崎中央	3	23.1%	38	39	12	1
第6分區(6クラブ)	／	-	122	124	10	2
十日町	2	28.1%	32	31	4	-1
小千谷	3	10.3%	30	29	3	-1
雪国魚沼	5	20.0%	20	24	2	4
十日町北	2	0.0%	18	18	0	0
津南	3	18.8%	16	16	1	0
越後魚沼	4	16.7%	6	6	0	0
第7分區(7クラブ)	／	-	312	320	23	8
高田	4	32.0%	72	74	5	2
直江津	3	32.4%	69	68	6	-1
新井妙高	4	11.1%	31	36	1	5
糸魚川	3	72.1%	41	43	3	2
高田東	3	66.7%	36	35	3	-1
糸魚川中央	3	55.6%	28	27	0	-1
越後春日山	5	94.6%	35	37	5	2

クラブ数	55	クラブ
7月1日 会員数	1,998	人
3月末 会員数	2,012	人
女性会員数	149	人
純増減会員数	14	人
My Rotaryアカウント登録率	28.7	%

地区主要行事予定

2022年4月28日現在

年 月 日		行 事		会 場	
2022年 (R4) 高尾年度	5月	青少年奉仕月間			
		7	(土)	国際奉仕フォーラム ディスカッション	ホテルオークラ新潟
		7	(土)	第4分区IM (外山G補佐・三条北)	ジオ・ワールドVIP
		14	(土)	第5分区IM (笠原G補佐・長岡)	長岡ランドホテル
		14	(土)	加茂RC創立60周年記念式典	清雲亭山重
		21	(土)	高橋年度 地区研修・協議会	ホテルオークラ新潟
		28	(土)	小千谷RC創立60周年記念式典 →延期	グリーンパーク
	6月	ロータリー親睦活動月間			
		4~8	(土~水)	RI国際大会	ヒューストン(米国テキサス州)
		18	(土)	ロータリー奉仕デー	新潟県内
		18~19	(土~日)	日本青少年交換研究会・熊本会議	くまもと森都心
		19	(日)	ロータリー財団 学友会総会	ホテルイタリア軒
		25	(土)	柏崎中央RC創立20周年記念式典・祝賀会	市民プラザ・柏崎産業文化会館
		26	(日)	第2分区IM (片山G補佐・新潟東)	ANAクラウンプラザホテル
			ローターアクト地区協議会		

【新入会員】

(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
佐渡	小笠原 靖	2022.04.01	佐渡ガス株式会社	常務取締役	都市ガス供給
柏崎	植木 豊	2022.04.01	(株)植木組	常務執行役員 柏崎支店長	請負業
柏崎	石井 悟	2022.04.01	東北電力ネットワーク(株)柏崎電力センター	所長	配電事業
雪国魚沼	高橋 香織	2022.04.01	御湯宿 中屋	代表取締役	旅館業
直江津	坂本 浩一	2022.04.01	三菱ケミカルハイテクニカ(株)上越テクノセンター	上越テクノセンター長	化学工業
高田東	梅澤 滋	2022.04.04	日本生命保険相互会社	営業部長	生命保険業
長岡	吉津 由貴	2022.04.05	北陸ガス株式会社	長岡支社長	ガス供給
長岡	脇田 純一	2022.04.05	日本生命保険相互会社	長岡支社長	生命保険
長岡西	平石 優介	2022.04.07	平石優介法律事務所	所長	弁護士
村上	舘島 英佑	2022.04.07	舘島土地家屋調査士事務所	所長	土地家屋調査士
高田	佐藤 勝則	2022.04.08	(株)新潟日報社 上越支社	執行役員 上越支社長	新聞発行

【訃報】

(敬称略)

RC	氏名	逝去日	会社名	役職	職業分類	経歴・その他
柏崎	酒井 好道	2022.03.20	(株)酒井鉄工所	代表取締役	機械工場	



会員増強からモチベーションアップへつなげる

長い時間をかけてようやく新しい会員の入会にこぎつけて安堵したのも束の間、親しかったクラブの仲間が退会するという情報が耳に入ってやりきれない思いに……。こうした事態は達成感のカウンターのよう、高まっていたテンションを打ち砕いてしまいます。会員数だけでなく、会員の高齢化もクラブのポテンシャルをダウンさせてしまうでしょう。今では、新型コロナウィルスの連波にあわせてクラブ例会がストップしてしまい、ロータリーに対するモチベーションが損なわれて、いつの間にか寒風が吹くようになってしまったというクラブも増えているかもしれません。新型コロナウィルスと共に過ごさざるを得ない昨今、モチベーションの維持こそが緊急課題のように思えてなりません。

会員増強というテーマを数量達成のテクニックとして受け止めるだけではなく、ロータリーに対するモチベーションアップというところにつなげて考えていくということに強い関心をもってきました。ロータリーに入会しても、ロータリーの魅力や醍醐味を体感しないまま漫然とロータリーを続けている人(恥ずかしながら、かつての自分の姿です)や、ロータリーを理解するに至らないまま入会して間もなく退会してしまう人がたくさんいるということを知ると、胸を締め付けられるような気持ちになります。会員増強から在籍の定着、つまり会員維持につなげなければ何の意味もない。さらに言えば、在籍期間だけでなく、ロータリアンとしてロータリーに対する熱い思いを増幅させていかなければ、アクティブなパワーは生まれてこないし、持続可能なロータリーにはならないとも思ってしまう。

ロータリーへのモチベーションや高い目的意識を保ち続けていくには、研修セミナーやミーティングを通して、向上へのスイッチを入れたり学びや情報入手を習慣化するといった一連性も必要だと思います。掲げた目標に対して経過や結果を放置せず、きちんと確認して次の段階に活かしていくというスタイルも強く意識しなければならないと思います。

戦略計画には、会員増強と会員維持と会員資質向上をリンクさせた総合性のあるコンテンツが必須だと思いますし、行動計画として具体的に実行していくことが次の会員増強に弾みをつけることになると確信しています。

●MISSION:POSSIBLE～私たちにできること～

会員増強にしても奉仕活動にしても、最初から否定的に考えてしまうことがあると思います。見かけ上は謙遜や謙譲といった美德のように受け止められるかもしれませんが、ロータリーにおいてはモチベーションアップになりません。プラス志向による立場や行動こそが、ロータリアンとしてのステップアップになると言い切りたいと思います。

上記の目線で作成したテキストを添付しますので、ご活用いただきたいと思います。

第2地域 ロータリーコーディネーター補佐 関 邦則(長野RC)



世界ポリオデー 2022 in Japan

2年余に及ぶ新型コロナウイルスの影響で、ロータリー活動にも大きな変化が生じました。ソーシャルディスタンスを保ちながら、例会、そして人道奉仕活動を継続していただきありがとうございました。

多くの皆様は、コロナワクチンの3回目のブースター接種を済まされたことと思います。政府は第4回目のワクチン接種も計画していると報じられています。改めて、ウィルスの感染防止に対して、ワクチンの重要性を再認識することになりました。ロータリーは30数年も「ポリオ根絶」に取り組んできました。

日本国内においてポリオはすでに忘れられた存在になっており、ポリオの意識は低いです。日本国内では、2012年9月から不活化ワクチン注射接種が始まりました。現在は、生後3か月から12か月の間に3回、その後追加接種で1回、合計4回の接種が行われています。日本でも毎年ワクチンを接種し続けないと海外からポリオウイルスが入ってくることによる感染リスクも考えられます。

「ポリオ根絶」はロータリーの最優先事項、ワクチン接種の継続こそが根絶への鍵であります。達成まであと少しです。

コロナを経験して、日本でも再度「ポリオ根絶」に力をいれていきたいと願っています。残り後2か国ですが、生ワクチンや不活化ワクチンの接種を継続していかなければなりません。ワクチンの代金、それを保存、運搬するクーラーなどに、まだまだ多くの費用が掛かります。皆様ご存知のように、ビル&メリンダ・ゲイツ財団がロータリーの資金に対し、2倍のマッチングを行っているので、皆様のポリオプラスのご寄付が3倍になるわけです。その支援がある間にぜひ、根絶したいと思います。

国際ロータリーでも、10月24日の「世界ポリオデー」には全世界で認知度を高め、寄付を募るイベントをしています。

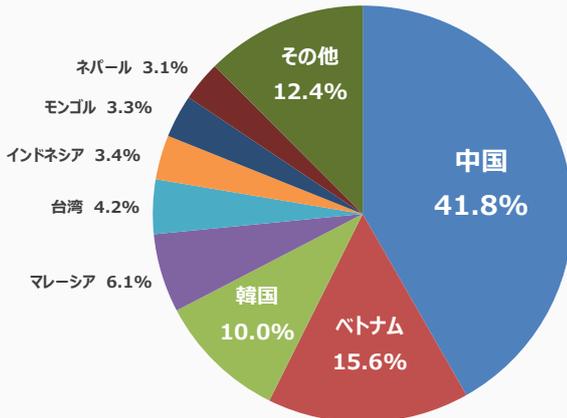
今年は、日本各地で、地区単位、クラブ単位での世界ポリオデーイベントを企画、実施してポリオ根絶に挑戦したいと思います。今年は、ポリオ根絶コーディネーター(EPNC)はもとより、ロータリー公共イメージコーディネーター(RPIC)の皆さんがこの世界ポリオデーのイベントを地域や日本全国にメディアを使って発信し、ロータリーの認知度やイメージの向上につなげ、そして、会員増強までつなげたいということで、ロータリーコーディネーター(RC)の皆様、さらに、恒久基金/大口寄付アドバイザー(E/MGA)、と協働して、地域リーダー全員で「世界ポリオデー」を盛り上げて行くことができたらいいなと思っています。

第2地域 RRFC 服部 良男(愛知三州RC)



1. 2022 学年度の奨学生

2022 学年度の奨学生は昨年度より 10 人減の 900 人となりました。新規採用者 619 人、継続者 281 人です（4 月 8 日現在）。国・地域別に



みると、中国 41.8%、ベトナム 15.6%、韓国 10.0%、マレーシア 6.1%、台湾 4.2%の順です。プログラム別では、学部・修士・博士課程奨学金が 850 人（学部 430 人、修士 218 人、博士 202 人）、地区奨励奨学金 16 人、クラブ支援奨学金 8 人、海外学友会推薦奨学金 3 人、海外応募者対象奨学金 23 人となっています。4 月末までに各地区でオリエンテーションが開催されます。オリエンテーションは、奨学生とカウンセラーが出会い、奨学生としての義務やロータリーについて理解してもらう場です。確約書に署名をした後、正式に米山奨学生となります。どうぞ温かくお迎えください。

2. 巣立った奨学生へ —カウンセラーからのメッセージ—

米山奨学生のカウンセラーには年に 2 回、所見の提出をお願いしています。今回はその中から、今年 3 月に卒業した中国出身の米山奨学生、^{ロウ} 嬢 さんのカウンセラーを務めた松林 茂会員（東京セントラル RC）からのメッセージを紹介します。



<カウンセラーからのメッセージ>

2 年間、当クラブでお世話をしたロウセンさんの卒業にあたり、カウンセラーとして最後の報告をします。2 年間とはいえコロナで例会も途切れがちとなり、ロウセンさんに対して十分な配慮ができたかどうか、自責の念にとらわれます。体感としては 8 か月ぐらいいかお世話できていない感じです。他の会員にしても同じような感覚ではないでしょうか。

3 月の例会卓話では、彼女が東京大学大学院博士課程で醸造について学んできたことを、われわれにわかりやすく解説してくれる予定でした。コロナの影響でそれも叶わず残念です。大昔、ロウセンさんの故郷・中国から日本に伝わった酵母。これを使った醸造により作られた味噌・醤油・お酒は、日本の食文化に欠かせないものです。若いロウセンさんがその中国から日本に勉強に来られていることに、先人たちの色々な交流の果てにわれわれが今を生きていることを実感します。

卒業後の彼女の進路がどのようなものになるろうとも、日本の良き理解者として、中国との懸け橋として、今後大いに活躍されることを祈っています。

3. 寄付金速報 — 今年度初めて前年同期比増へ —

3 月までの寄付金は前年同期と比べて 0.1% 増（普通寄付金:0.9%減、特別寄付金:0.6%増）、約 50 万円の増加となりました。今年度に入り、前年同期よりも寄付累計額が増額になったのは初めてで、少しずつではありますが回復傾向に

あります。ロータリアン皆さまからのご支援に厚く御礼申し上げます。まだコロナ感染者数も減少せず、不安な日々が続いていますが、これからもご協力を賜りますようお願いいたします。

4. 東京米山ロータリーEクラブが創立 10 周年

米山学友を中心とする国内初のEクラブ、東京米山ロータリーEクラブ 2750 の創立 10 周年オンライン記念例会が 3 月 20 日に開催されました。事前に登録したロータリアンや米山学友、奨学生など海外からの参加を含む総勢 100 人ほどが出席。同クラブ会員やゲストが一部会場に集まり、そのほか約 70 人が ZOOM で参加するハイブリッド形式で進行されました。

肖慧潔会長 (2008-09 / 東京白金 RC) は挨拶の冒頭で、新型コロナウイルスや戦争によって命を落とした人々を追悼し、黙祷を捧げました。つづいて、関 博子クラブ特別代表の挨拶、三浦眞一ガバナーからの祝辞がありました。

記念式典の目玉は「未来を担う子ども達」をテーマとするパネルディスカッション。ファシリテーターの長崎 智香子さん、パネリストのコイララ アシユマさん (東京井の頭 RC)、沈佳琦さん (東京立川こぶし RC)、タン シン ナインさん (東京調布 RC)、張沁瑩さん (茅ヶ崎中央 RC) はいずれも同クラブ会員です。パネ

リストはそれぞれ、サマーキャンプやミャンマー・ネパールにおける教育支援、日本在住でありながら日本語が話せない子どもへの支援など各自の活動を紹介。最後にブレイクアウトセッションがあり、普段のEクラブ例会の交流体験が行われました。

現在、同クラブは会員 37 人 (ほか名誉会員 1 人)、会員の出身国は 7 つの国・地域から構成されています。今後も若いパワーを生かし、クラブがますます発展することを祈念しています。



5. ウクライナの米山学友は今

ウクライナ出身の米山学友はこれまでに 12 人。そのうちの 1 人、『ロータリーの友』2021 年 2 月号の「よねやまだより」に掲載されたテチアナ・セゾネンコさん (2017-19 / 大阪城南 RC) の近況を紹介します。

戦争勃発後、それまで製剤化学者として農



作物のための薬剤を開発する日々を送っていたテチアナさんの生活は一変。祖国のために何かできることを・・・と考えた彼女は志願してボランティア団体に入

り、最も弱い立場にいる人々のために、赤ちゃんのオムツや粉ミルク、衛生用品、食料、飲料水、ペットフードなどの生活必需品を送る活動を始めました。時には足りない薬を探しに奔走し自費で購入することも。文字通り昼夜を問わず奮闘する日々を送っています。彼女の世話クラブである大阪城南 RC も、会員や米山学友から寄せられた義援金を送金したということです。テチアナさんは次のように語りました。「ロータリーの皆さんからのお金は難民の支援に充てています。私は首都キーウ (キエフ) から 80km ほど離れた所にいて、破壊された町から逃げてきた人々の手助けをしています。一番の願いは小さな子どもたちが普通の生活を送れる日々を取り戻すことです。私の心はウクライナとともにあります。一日でも早く、明るい日が来てほしい。ウクライナから希望をこめて」